

## 1 目的

農業への興味・関心を高め、農業を進路の一つとして捉えられるように、専門的な学習から社会人としての能力や態度を育成することを目的とする。

## 2 実施状況

### (1) 農業大学校の一日体験学習

1年生34人が農業大学校の一日体験学習に参加した。農大生による実習指導を体験し、将来の進路として考える機会となった。



農大1日体験学習

### (2) 視察研修

ア 野菜班2年生12人が、先進地（農業開発総合センター、先進農家、JAおいどん市場）を視察した。農業の将来や課題、野菜の市場価格を見て、農業経営感覚を肌で感じていた。



農業開発総合センター視察

イ 植物バイオ班2,3年生19人が、環境未来館、鯉節加工会社を視察した。国際的な目標であるSDGsや国際食品安全規格を深く学ぶ機会となった。

### (3) HACCPシステムトレーニング研修

国際水準食品安全規格ではHACCPの考え方が必要であるため、2年生37人を対象にトレーニングコースを受講した。



HACCPトレーニングコース講習

### (4) 収穫祭

農業クラブ役員を中心に公衆衛生を踏まえ、主体的に取り組むことができた。また、利用している農場の清掃や道具の整理整頓、農業生産物に視点をあて、日頃の日常に感謝する機会となった。



収穫祭

## 3 今後の課題

専門知識や経営感覚を学び、農業経営者や農業関連従事者を目指す意識を高めることができたと感じる。しかし、今年度の卒業生の進路を見ると農業関連産業へ進む生徒は1人であった。

1,2年生の中には、農業大学校や農業関連産業に興味・関心を示している生徒もいるため、継続した働きかけをとおして農業の経営者、従事者、理解者の育成に取り組んでいきたい。